

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	事務事業の見直し			事業番号	40-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部行政経営担当	古宮 雄二	経営企画課	成田 勝也	

計 画 (Plan)

総合計画体系	自治力	まちづくり目標	5	みんなで考え行動するまち	
		基本政策	10	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	
		施策展開の方向	18	次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる	
		施策	40	市民に信頼される市政の推進	
予算事業名					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成17年度	～	終了年度	—
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	第5次行財政改革推進計画			計画期間	平成30年度～平成34年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	社会情勢の変化により行政への潜在的な需要が多様化しています。厳しい財政状況の中、持続的な行政サービスの提供を図るためには、行政運営の改善が必要とされてきています。				
目的 (何をどうしたいのか)	事務事業の有効性、効率性、必要性、実施主体などを点検し、質と量の両面から行政サービスの見直しを進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	行政事務事業全般				
事業内容 (手段、手法など)	外部委員会である伊勢原市行財政改革推進委員会による行財政改革推進計画の進捗状況確認、行政内部からの事業の点検により、効果的で効率的な行政執行体制を実現します。多様な行政事務のうち、定型化や集約化が可能な業務のアウトフレームをとらえ、さらにその業務量を精査することで、効率化を推進します。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事務事業の見直し	実施	継続実施・新規見直し	継続実施・新規見直し	
	行財政改革推進委員会の運営	運営	運営	運営	
	業務標準化	既存マニュアル精査 新規作成	運用・検証	運用・検証	
業務の洗い出し	事例研究	検討・調整	試行		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事務事業見直し件数	—	10件	15件	15件



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)					
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事務事業の見直し	実施			
	行財政改革推進委員会の運営	運営			
	業務標準化	既存マニュアル精査			
	業務の洗い出し	事例研究			
実施した取組の内容	平成31年度予算編成時に、予算を伴わない事業も含めた見直しを実施しました。業務標準化に向けて、既存マニュアルを調査し、精査方法を検討しました。				
目標の達成状況	【指標名】	年度			
		【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事務事業見直し件数	—	40件		

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
	事業費合計 (a)			0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
内訳	国県支出金 ①			0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
	地方債 ②			0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
	その他特財 ③			0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
	一般財源 (a)-①-②-③			0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
国県支出金の内容														
その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無				前回の改定時期								
	その他													
人件費	正規職員	0.19	人	1,617	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円	
	その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円	
	人件費合計 (b)	0.19	人	1,617	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円	
トータルコスト (a)+(b)				1,617	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位			単位			単位			
		対象数	102,416		人									
	総事業費 / 対象数	16		円				円				円		

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	外部委員で構成する行財政改革推進委員会を開催し、第5次行財政改革推進計画の進捗状況の点検を行いました。当初の見込み件数を大きく上回る件数の事務事業の見直しを図り、行革取組効果額も当初の想定額を上回る見込みです。行政事務の洗い出しと標準化については、想定よりやや進捗が遅れています。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	近隣市においても事務事業の効率性などを検証し、行政サービスのそのものの必要性や実施主体、実施手法などの視点からの見直しに取り組んでいますが、具体的は取組方法はそれぞれ異なっています。
有効性 [選択・記入]	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	第5次行財政改革推進計画に掲げた取組について、適切な進捗管理が図られるとともに、新たな経費の削減等の効果がみられました。
効率性 [選択・記入]	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	各所属における事務事業の見直しを予算編成作業にリンクして実施したため、効率的な見直しが図れましたが、業務の見える化を推進することで、その有効性を更に高める余地があります。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 [選択]	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	事務事業の見直しにより、一定の効果は上げられていますが、行政運営に経営の視点をより取り込んだ事業の見直しを進める必要があります。
令和元年度の取組方針		第5次行財政改革推進計画が示す取組方針に基づき、事務事業見直しの質的・量的な上積みを図っていきます。		
所管部長による総評		限られた財源を最大限に活用するため、第5次行財政改革推進計画に掲げた事務事業の見直しに係る取組を着実に実行するとともに、新たな取組やさらなる取組の上積みを図っていく必要があります。		